



「人生百年時代」と言われる今、大清水小学校で過ごしている子どもたちは、二十二世紀を生きる世代です。私が子どもの頃に空想した未来を超える社会が目の前にあります。価値観は多様化し、日々アップデートされています。子どもたちは、そんな社会を生き抜き、未来を築いていくのです。

今、子どもたちが新たな時代を生き抜くために、「主体的・対話的で深い学び」への転換が求められています。大清水小学校では、昨年度から、子どもたちが自分で考え、選択し、進んで学ぶ「単元内自由進度学習」に取り組んでいます。分からぬことがあります。自分で調べたり、質問したりします。そして、友達との考え方の違いを語り合います。ときには、家庭でも実験をして、その成果を動画で発信する子もいました。

子どもたちは、知的好奇心や向上心をもっています。教員は、そのベクトルを伸ばすための「学びの伴走者」です。さらに本年度は、高学年の総合的な学習で学級、学年の枠を外した興味関心別のコース学習を始めます。低学年

を教材とした体験を大切にした学習に取り組みます。未だ、自分で調べたり、質問したりします。そして、友達との考え方の違いを語り合います。ときには、家庭でも実験をして、その成果を動画で発信する子もいました。

子どもたちは、知的好奇心や向上心をもっています。教員は、そのベクトルを伸ばすための「学びの伴走者」です。さらに本年度は、高学年の総合的な学習で学級、学年の枠を外した興味関心別のコース学習を始めます。低学年



## 未来を築く世代のために

校長

福井

聰

でも、地域の人・もの・ことを教材とした体験を大切にした学習に取り組みます。未だ、自分で調べたり、質問したりします。そして、友達との考え方の違いを語り合います。めざすべきは、「自立した学習者」です。

令和7年度も、最新の大清水小学校は、最良の大清水小学校でありたいと強く思います。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



第51号

令和7年5月23日

編集・発行

豊橋市立大清水小学校

〒441-8132

豊橋市南大清水町字元町 78 番地

TEL 0532-25-2418

<http://www.toyohashi-c.ed.jp/ooshimizu-e/>



R7. 4. 1

令和7年度 児童数			
学年	男	女	計
1年	17	18	35
2年	22	21	43
3年	16	20	36
4年	23	23	46
5年	18	22	40
6年	21	13	34
なかよし	9	2	11
合計	126	119	245

## 通学団一覧

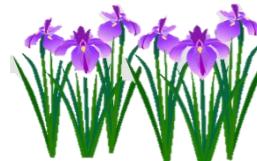
通学団	人数	通学団	人数
本町	27	駅前	15
清水	11	藤ヶ谷	14
ひばり	46	富士見A	15
元町A	39	富士見B	21
元町B	16	野依台	17
元町C	24		

## 委員会活動

委員会名	人数	委員会名	人数
運営	6	図書	15
運動	13	放送	13
環境美化	14	保健給食	15

## クラブ活動

クラブ名	人数	クラブ名	人数
室内遊び	13	ダンス	21
外遊び	18	ドッジボール	15
体育館運動	28	制作	24



## 1年 1組 服部 誠也

## わんだふる

☆すんで学ぼうとする子  
☆よい・わるいがしっかりと判断できる子  
☆挨拶、返事を元気よく言える子

2年 1組 伊豫田まい  
2組 橋田 良一

## きうきう

☆自分で考え、行動できる子  
☆自分も周りも大切にする子  
☆のびのびと体を育てる子

3年 1組 大川麻衣子  
2組 山下 麗

## 3キュー!

☆よく聞き、自分の考えを発表できる子  
☆自分なりのめあてを決めて、最後までがんばる子  
☆感謝の心をもち、みんなと協力できる子

なかよし  
なかよし

1組 山口 高広  
2組 中島 浩至  
☆仲間を大切にする子  
☆賢い判断を、  
生活の中でできる子  
☆よい行いを積極的にする子  
☆仕事に責任もって取り組む子

4年 1組 村田 結菜  
2組 名倉 静香

## レインボー

☆自分で考え行動できる子  
☆困難なことにも諦めずに取り組む子  
☆友達のよさを認め、  
お互いに成長できる子

5年 1組 櫻井由梨香  
2組 鈴木 創太

## 切り拓け! GEAR5th

☆新たな未来を切り拓ける子  
☆自分の可能性を高められる子  
☆自分や友達の良さを認められる子



## 6年 1組 村上 卓也

## 限界突破

☆友達と協力して成し遂げられる子  
☆何事にも粘り強く挑戦できる子  
☆行事に積極的に携われる子



## 自立の基礎を築く

## 令和7年度

~自分で考えよい判断ができる子 心の体幹がつよい子の育成をめざして~

## 《教職員》(担任以外)

校長	福井 聰
教頭	滝川 早希子
教務主任	高田 博之
校務主任	山本 律子
事務主任	朝倉 規雄
業務長	岩常 男子
養護教諭	新美 真子
理科教科	齊藤 裕子
育短補充	上川 友香
初任研補充	三浦 りか子
通級指導担当	小島 典子
学校図書館司書	羽柴 留美
支援員	贊ルミ子
支援員	和波 秀彦
S A	岩瀬 香織
A L T	ロセリン・アラシ
スクールカウンセラー	野々山 晴美
拠点校指導員	杉浦 隆夫

## 教育目標

大らかに 清らかに  
よく考え 進んで学ぶ子  
健康で たくましい子  
仲よく 助け合う子



## 本年度の重点努力目標

◎学び方・学ぶ意欲の育成 (確かな学力)	○単元内自由進度の導入 ○コース別総合的な学習 ○個に応じた宿題「けでぶれ」の導入など
◎思いやる心・感動する心の育成 (豊かな心)	○自己決定の場の確保 ○子どもとつくる子ども主体の行事 ○いじめに対する敏感さの醸成など
◎心身の健康・体力の育成 (健やかな体)	○体を動かす楽しさを味わう授業 ○メディアチャレンジ ○日常的に判断する機会など
◎小中一貫教育の基盤づくり (小中の連携)	○4小1中でめざす子どもの姿の共有 ○9か年を見通した教育課程 ○研究協力員の交流など
◎信頼される学校づくり (家庭・地域との連携)	○教育技術向上のための研修 ○いじめ等諸問題への組織的な対応 ○保護者・校区への発信や意見交流など

## 地域に密着した学習

1年	さあ、みんなで出かけよう	校区にある公園の探検を通して、遊び方のマナーを考えたり、季節による生き物の変化に気づいたりする。
2年	わたしのまち はっけん	神社やお店など、自分が気になる施設の探検を通して、校区にある施設の場所や様子などに気づく。
3年	大清水もの知り博士になろう	しょうぶの世話や地域の方からしょうぶの由来やしょうぶに対する思いを聞き取る活動を通して、ふるさと大清水を愛する心を育てる。
4年 5年 6年	興味・関心別探究活動	SDGsの調べ学習で考えたことをもとに、「環境」「食育」「国際理解」「防災」「地域」のコースから自らの興味・関心に合わせて学習の場を選択する。人との出会いや体験活動を通して、さらに追究を深めていく中で、コースに沿ったそれぞれの視点で地域や自らの生活等を見つめ直す。



## 令和7年度の年間予定 (7月~)

月	日	曜日	行事・活動内容
1 学 期	7	月	個人懇談会① (～9日)
	11	金	イローレートの日
	17	木	給食終了
	18	金	1学期終業式
	31	木	サマースクール (オンライン出校日)
2 学 期	8	11	月
	1	月	学校閉庁日 (～15日), イローレートの日
	3	水	2学期始業式
	5	金	給食開始
	11	水	自由参観日 (夏休み作品展)
3 学 期	25	木	PTA おたのしみ会・環境整備作業
	2	木	修学旅行 (6年) (～3日)
	11	金	イローレートの日
	15	水	自由参観日, 学校訪問
	23	木	就学時健康診断
4 学 期	30	木	野外教育活動 (5年) (～31日) がんばり週間 (～11/13)
	11	火	イローレートの日
	13	木	運動会 (予備日: 14日)
	26	水	学校保健委員会②
	8	月	個人懇談会② (～10日) 持ち寄り資源回収② (～10日)
5 学 期	11	木	イローレートの日
	18	木	大清水マラソン大会 (予備日: 19日)
	22	月	給食終了
	23	火	2学期終業式
	7	水	3学期始業式
6 学 期	8	木	給食開始
	11	日	イローレートの日
	19	月	がんばり週間 (～29日)
	25	土	資源回収③<事業所> (予備日: 26日)
	27	火	持ち寄り資源回収③ (～29日)
7 学 期	29	木	大清水っ子発表会
	3	月	新入学児童保護者会
	5	木	学校評議員会②
	11	水	イローレートの日
	12	木	民生・主任児童委員との懇談会②
8 学 期	19	木	ありがとうの会
	4	水	6年生を送る会
	11	水	同窓会入会式, イローレートの日
	16	月	給食終了 (6年)
	19	木	卒業式 (予定)
9 学 期	23	月	給食終了 (1～5年)
	24	火	修了式

生活サポートは、子どもが困難を抱えているときに、乗り越えていけるようにという視点で支援を行っています。

昨年度は、生活サポート主任として、学校生活への不安や悩みを抱える子どもや保護者の方と関わらせていただきました。悩みは本当に様々で、対応の仕方ももとに合わせて変わります。原因がはつきりせず、状況が停滞してしまうことがあります。しかし相談が起きましたが必ず過程

で、少しずついい方向へ進んでいく過程です。どうも安心していただき、スクールカウンセラーや外部機関との決の糸口を探していきたいと思います。

今年度から実施している、市内一斉「メディアコントロールチヤレンジ (メディチャレンジ)」は、メディアとの上手な関わり方をテーマに学年ごとに実施されています。今年度も引き続き行います。メディアと上手につきあっていくための「セルフコントロール」を身につけることを目指し、メディアを元気に過ごすための方法を、大

いきたいと思います。

今年度も大清水小学校の子どもたちが、元気

にいっぱいに学校生活を

送れるよう、保健活動へ

の保護者の皆様のご協力

をよろしくお願ひ

いたします。

メディアとの関わり方を中心とした生活リズム

を見直す機会にしたい

と思います。また、今年度の学校保健委員会で

は、メディアとの上手な

関わり方をテーマに学年

ごとに実施を行つて

いきます。

今年度も一年を通して、規則正しい生活リズムを身につけられるよ

うに保健活動を行つて

いきます。